# 安全データシート

作成日　2024年3月21日
改訂日　2026年10月12日

## YICHITA 使い捨て式防じんマスク YQD851JP-Pro1（排気弁付き）

### 1. 化学品及び会社情報

| | |
|---|---|
| 製品名 | YICHITA 使い捨て式防じんマスク YQD851JP-Pro1（排気弁付き） |
| 型式の名称 | YQD851JP-Pro1 |
| 種類・区分 | 防じんマスク　使い捨て式（半面形）・排気弁付き／区分 DS2 |
| 型式検定合格番号 | 第 TM886 号（労働安全衛生法に基づく型式検定合格品） |

**供給者（正規日本総販売代理店）**

| | |
|---|---|
| 会社名 | 株式会社湘南ワイパーサプライ |
| 住所 | 〒245-0018　神奈川県横浜市泉区上飯田町 286-1 |
| 電話番号 | 045-803-6155 |
| FAX 番号 | 045-804-6795 |
| 電子メール | info@shonan-w-s.co.jp |
| ウェブサイト | https://www.shonan-w-s.co.jp |
| 緊急連絡電話番号 | 045-803-6155<br>（受付時間：平日 10:00～17:00。夏季休業日・年末年始を除く） |

**製造元**

| | |
|---|---|
| 会社名 | Shanghai Yunqing Industrial Co., Ltd.（上海允清実業有限公司） |
| 住所 | No.508, Fengyong Road, Fengxian District, Shanghai, China<br>（中国上海市奉賢区奉永路 508 号　郵便番号 201414） |
| お問合せ | 本製品に関する日本国内でのお問合せは、上記の供給者までお願いいたします。 |

**推奨用途及び使用上の制限**

| | |
|---|---|
| 推奨用途 | 粉じん（固体粒子）が発散する作業場で使用する呼吸用保護具（防じんマスク） |
| 使用上の制限 | 次の場所では使用しない。<br>・酸素濃度 18％以下の場所、酸素欠乏のおそれがある場所、又は酸素濃度が不明な場所<br>・有害なガス、蒸気又はエアロゾルが存在する場所（防毒の機能はない）<br>・オイルミスト等が混在する場所（本製品は固体粒子用〔S〕である）<br>・有害物質の種類又は濃度が不明な場所<br>・放射性の粉じんが存在する場所<br>・ダイオキシン類の粉じんが存在する場所<br>・石綿を使用した建物の解体現場<br>法令又は通達で防じんマスクの種類及び区分が定められている作業では、その定めに適合するものを選択する。 |
| 使用限度時間 | 12 時間。限度を超えて使用しない。 |
| 選択及び使用 | 取扱説明書及び「防じんマスク、防毒マスク及び電動ファン付き呼吸用保護具の選択、使用等について」（令和 5 年 5 月 25 日付け基発 0525 第 3 号）に従う。 |

## 2. 危険有害性の要約

本製品は成形品(固形の物品)であり、通常の取扱い及び使用において、構成成分へのばく露は想定されない。

| | |
|---|---|
| GHS 分類 | 分類対象外(成形品) |
| GHS ラベル要素 | 絵表示、注意喚起語、危険有害性情報及び注意書き:なし |
| その他の危険有害性 | ・合成樹脂及び合成繊維を主な材料とするため、可燃性がある。<br>・燃焼すると、一酸化炭素等の有害なガスが発生するおそれがある。<br>・使用済みの製品には、捕集した粉じんが付着している。付着した粉じんの有害性に応じた取扱いが必要である。 |

## 3. 組成及び成分情報

| | |
|---|---|
| 化学物質・混合物の区別 | 成形品(物品) |

**成分及び含有率**

| 成分(材質) | CAS 番号 | 含有率(重量%) |
|---|---|---|
| ポリプロピレン | 9003-07-0 | 40.93 |
| ポリエステル(ポリエチレンテレフタレート) | 25038-59-9 | 33.03 |
| ポリウレタン(スパンデックス) | 9009-54-5 | 19.44 |
| シリコーンゴム | 63394-02-5 | 3.69 |
| 鉄 | 7439-89-6 | 2.95 |

※ 成分及び含有率は、製造元の資料による。

## 4. 応急措置

| | |
|---|---|
| 吸入した場合 | 通常の取扱いでは吸入のおそれはない。燃焼又は加熱によって発生した煙やガスを吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移動して安静にし、異常があれば医師の診察を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | 通常の接触では処置を要しない。着用によってかゆみ、発疹等の異常が現れた場合は、使用を中止し、医師の診察を受ける。溶融した製品が皮膚に付着した場合は、無理にはがさず、直ちに大量の水で冷やし、医師の手当てを受ける。 |
| 眼に入った場合 | 繊維くず等が眼に入った場合は、こすらずに清浄な水で十分に洗い流す。異常が残る場合は医師の診察を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | 部品又は破片を誤って飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、医師の診察を受ける。 |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | 情報なし |
| 応急措置をする者の保護 | 未使用の製品の通常の取扱いでは、特別な保護具を必要としない。火災等によって煙又は有害なガスが発生している場所では、救助者は自身の安全を確保し、適切な呼吸用保護具を着用する。酸素欠乏のおそれがある場所での救助には、空気呼吸器等を使用する。使用済みの製品を扱う場合は、付着した粉じんの有害性に応じた保護具を着用する。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | 情報なし |

## 5. 火災時の措置

| | |
|---|---|
| 適切な消火剤 | 水(噴霧)、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素 |

| | |
|---|---|
| 使ってはならない消火剤 | 情報なし |
| 火災時の特有の危険有害性 | 燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素等のガスが発生する。 |
| 特有の消火方法 | 風上から消火する。周辺の可燃物を速やかに安全な場所へ移す。 |
| 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 | 自給式呼吸器(空気呼吸器)及び防火服を着用する。 |

## 6. 漏出時の措置

| | |
|---|---|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 成形品であり、漏出は想定されない。使用済みの製品が散乱した場合は、付着した粉じんの有害性に応じた保護具を着用して回収する。 |
| 環境に対する注意事項 | 河川、下水、土壌等に流出させたり、放置したりしない。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | 散乱した製品は拾い集める。使用済みの製品は、付着した粉じんが再飛散しないように袋又は容器に入れる。 |

## 7. 取扱い及び保管上の注意

**取扱い**

| | |
|---|---|
| 技術的対策 | 特別な対策は必要としない。 |
| 安全取扱注意事項 | ・取扱説明書に従って正しく装着し、使用の都度、密着性の確認(シールチェック)を行う。<br>・使用前に、変形、損傷、汚れ、しめひもの劣化等の異常がないことを点検する。<br>・洗ったり、改造したりしない。<br>・息苦しさを感じたとき、破損又は型くずれが生じたとき、及び使用限度時間に達したときは、新品と交換する。<br>・火気及び高温の物体に近づけない。 |
| 接触回避 | 「10. 安定性及び反応性」を参照。 |
| 衛生対策 | 有害な粉じんが発生する場所では取り外さず、安全な場所へ移動してから取り外す。使用済みの製品は、外面に付着した粉じんに触れないように取り外す。取扱い後は手を洗う。 |

**保管**

| | |
|---|---|
| 安全な保管条件 | 直射日光及び高温多湿を避け、ほこり等の異物が付着しない清潔で乾燥した冷暗所に、包装のまま保管する。火気及び熱源から離す。未使用の状態でも、使用期限は 3 年を目安とする。 |
| 安全な容器包装材料 | 出荷時の包装のまま保管する。 |

## 8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|---|---|
| 管理濃度 | 設定されていない(成形品) |
| 許容濃度 | 設定されていない(成形品) |
| 設備対策 | 本製品の取扱いのための特別な設備は必要としない。 |
| 保護具 | 未使用の製品の取扱いには、呼吸用保護具、手の保護具、眼の保護具、皮膚及び身体の保護具を必要としない。使用済みの製品を扱う場合は、付着した粉じんの有害性に応じた保護具を着用する。 |

## 9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---|---|
| 物理状態 | 固体(成形品) |

| | |
|---|---|
| 色 | 白色(鼻クリップの色は製造ロット等により異なる) |
| 臭い | データなし |
| 融点／凝固点 | データなし |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | 該当しない |
| 可燃性 | 可燃性あり |
| 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 | 該当しない |
| 引火点 | 該当しない |
| 自然発火点 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| pH | 該当しない |
| 動粘性率 | 該当しない |
| 溶解度 | 水に不溶 |
| n-オクタノール／水分配係数 | 該当しない |
| 蒸気圧 | 該当しない |
| 密度及び／又は相対密度 | データなし |
| 相対ガス密度 | 該当しない |
| 粒子特性 | 該当しない |
| その他のデータ | 質量:20 g 以下(取扱説明書による) |

## 10. 安定性及び反応性

| | |
|---|---|
| 反応性 | 通常の取扱い条件では反応しない。 |
| 化学的安定性 | 通常の保管及び取扱い条件で安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | 危険有害な重合反応は起こらない。 |
| 避けるべき条件 | 火気、高温、直射日光、高湿 |
| 混触危険物質 | 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | 燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素等が発生する。 |

## 11. 有害性情報

成形品であり、通常の取扱い及び使用において成分へのばく露は想定されない。製品としての試験データはない。

| | |
|---|---|
| 急性毒性 | 情報なし |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 情報なし |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 情報なし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 情報なし |
| 生殖細胞変異原性 | 情報なし |
| 発がん性 | 情報なし |
| 生殖毒性 | 情報なし |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 情報なし |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 情報なし |

| | |
|---|---|
| 誤えん有害性 | 情報なし |

## 12. 環境影響情報

| | |
|---|---|
| 生態毒性 | 情報なし |
| 残留性・分解性 | 情報なし。合成樹脂及び合成繊維を主な材料とするため、環境中に放置しない。 |
| 生体蓄積性 | 情報なし |
| 土壌中の移動性 | 情報なし |
| オゾン層への有害性 | 情報なし |

## 13. 廃棄上の注意

| | |
|---|---|
| 残余廃棄物 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに都道府県及び市町村の条例に従って処分する。事業活動に伴って廃棄する場合は、産業廃棄物として処理する。処理を委託する場合は、当該廃棄物の処理に必要な許可を有する業者に委託する。 |
| 使用済みの製品 | 付着した粉じんが再飛散しないように、袋又は容器に詰めた状態で廃棄する。付着した粉じんに適用される法令がある場合は、その定めに従う。 |
| 汚染容器及び包装 | 包装材は、関係法令及び自治体の区分に従って処分する。 |

## 14. 輸送上の注意

以下は、未使用の製品についての情報である。使用済みの製品は、付着した粉じんの種類に応じて判断する。

| | |
|---|---|
| 国連番号 | 該当しない |
| 品名(国連輸送名) | 該当しない |
| 国連分類(輸送における危険有害性クラス) | 該当しない |
| 容器等級 | 該当しない |
| 海洋汚染物質 | 該当しない |
| 国際規制 | 未使用の製品は、国際輸送上の危険物に該当しない。 |
| 国内規制 | 未使用の製品は、陸上輸送、海上輸送及び航空輸送のいずれについても、危険物としての規制の対象ではない。 |
| 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 | 水濡れ、高温多湿及び直射日光を避ける。包装が破損しないように積載し、荷崩れを防止する。 |

## 15. 適用法令

| | |
|---|---|
| 労働安全衛生法 | 型式検定の対象(法第 44 条の 2、施行令第 14 条の 2 第 5 号:防じんマスク)。「防じんマスクの規格」(昭和 63 年労働省告示第 19 号)に基づく型式検定合格品。<br>型式検定合格番号:第 TM886 号<br>名称等の表示及び通知(法第 57 条、第 57 条の 2):本製品は、取扱いの過程において固体以外の状態にならず、かつ、粉状又は粒状にならない成形品であり、対象外である。 |
| 化学物質排出把握管理促進法(化管法) | 通常の取扱いにおいて固体以外の状態にならず、かつ、粉状又は粒状にならない製品(固形物)であり、同法に基づく SDS の提供及び表示の対象とならない。PRTR の届出については、事業者における取扱いの実態に応じて判断する。 |
| 毒物及び劇物取締法 | 該当しない。 |

| | |
|---|---|
| 消防法 | 危険物に該当しない。大量に保管する場合は、市町村の火災予防条例(指定可燃物)の適用について、所轄の消防署に確認する。 |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 廃棄する場合に適用される(「13. 廃棄上の注意」を参照)。 |

※ 本書は、上記の成形品に該当する製品について、製品を安全にお取扱いいただくための情報提供として作成したものである。

## 16. その他の情報

| | |
|---|---|
| 参考資料 | ・製造元(Shanghai Yunqing Industrial Co., Ltd.)作成の製品安全資料(2024 年 3 月 21 日)及び取扱説明書<br>・製造元「DS2 防じんマスク 型式検定合格番号変更のお知らせ」(第 TM886 号)<br>・JIS Z 7253:2019(GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS))<br>・厚生労働省「防じんマスク、防毒マスク及び電動ファン付き呼吸用保護具の選択、使用等について」(令和 5 年 5 月 25 日付け基発 0525 第 3 号) |
| 作成及び改訂の履歴 | 2024 年 3 月 21 日 製造元による初版の作成<br>2026 年 10 月 12 日 JIS Z 7253:2019 の項目構成に準じて全面改訂。供給者(正規日本総販売代理店)の情報を追加。 |

本書の記載内容は、作成時点で入手できた資料及び情報に基づいており、新しい知見によって改訂されることがあります。記載の注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをされる場合は、用途及び使用方法に適した安全対策を実施のうえでご使用ください。本書は情報の提供を目的とするものであり、記載内容を保証するものではありません。

以上